

ikeeCOO

“住む人が主役の家づくり”に、もっとファンを！

2014
特別編集



住まい手の資産

街の資産

つくり手の資産

We Love Natural Life!

鹿児島県鹿児島市 | 株式会社シンケン



九州・鹿児島を拠点に、今年で創業から37年目を迎える株式会社シンケン。

2011年春には福岡にも新たな拠点を設け、以前と変わらない「棟数を追わず、自分たちが納得する家づくり」を追求しています。「自然を取り込み、機能的で居心地のよい、家族の情愛を育む家」というコンセプトを明確に伝える「迫メソッド」によって確立された「SINKEN STYLE」は、今や全国の住宅関連企業やこだわりを持った消費者の注目を集めるようになっていきます。今回は、家づくりの話だけにとどまらない、迫社長自らの経営観、価値観についてもお話いただきました。



株式会社シンケン 代表 迫 英徳



シンケンの家づくりの出発点は？

「創業当初から、自分にとっての理想の家づくりのあり方を模索しながらやってきました。私の考える家づくりの出発点は『まず自分が満足できる家をつくること』。このことを常に意識しながら仕事しないと、自分で納得していなくても安い材料を選んだり、手間を減らしたりという方向に行きがちになり『自分が建てました』と自信を持って言えなくなってしまう。だから、まず『自分はこんな家づくりをしたい』ということをお客様に具体的に伝え、その価値観に納得し、頼みたいと認めてくださる方との協同作業として家づくりを考えています。そうすることで、自分が納得し、お客様にも喜んでもらえる家を目指すための『土壌』ができます。家はお客様の資産であると同時に、それを見た人が『いいな』と思ってくだされば、それはつくった人間にとっての資産でもあるわけです。逆に『ダメだな』と思われてしまったら、それは負債になります。どうせやるなら仕事は楽しくやりたい。自分が納得できるものをつくり、それがお客様を笑顔にし、次のお客様を生む。この考え方がシンケンの家づくりの出発点です。」

素材選びと美意識について

「素材を選ぶ基準は『永く愛着を持って使えるものである』こと。年月を重ねるごとに味わいを増していく木材などの自然素材は、いつまでも愛着を感じる素材の代表ですね。また、そうした素材は、例えば20年後、50年後にメンテナンスする際にも、いつでも手に入る材料でもあります。そういう目でひとつひとつの素材を多角的に吟味して、納得できるものを使うようにしています。」

家は永くその場所に残ります。個人のものであるけれど、みんなが見る街の景色にもなります。だから私達は美意識を磨いて、街の景色をキレイにする努力をしないとイケない。

気持ちのいい住宅地には豊かな自然が欲しいですね。四季の移ろいを楽しむ、散歩を楽しみたくなる、そんな潤いのある街並みが理想です。木を愛でる人が集まって来る、大木が育つ、隣との境界が良い意味で曖昧になる、落ち葉の頃には皆がほうきを持って表に出て来る、そこにコミュニティが生まれ、近所が仲良くなる。そう、落ち葉を愛する人は例外なく心の優しい人です。」

街中の狭小地でも植栽を配置することで、自然が楽しめるように配慮している。



「家を建てるのが目的ではない」ということ

「お客様が家を建てる本当の目的は、家を建てることではなく、その家で楽しく豊かな暮らしを送りたいということだと思いませんか？そう考えると、『建てた家をどうケアしていくか？』ということがとても重要になってきます。建てた後、お客様がいつまでも本当に満足して暮らすことができれば、『ここに頼んでよかった』と周りの人にも勧めてくださるでしょうし、もしまた建てることがあればまた同じところに頼もうと思います。

これまでに建ててくださったお客様との良好な関係を維持しながら必要なケアをしてあげることが、お客様の楽しい暮らしのためにも、私たちの仕事の永續のためにも、絶対に必要不可欠なことです。」

仕事は自ら生み出すもの

与えられた仕事を成すだけでは人として生きる喜びはない。

仕事をする、とは知恵を出し、工夫をこらして

次の仕事を生み出すこと。

ひとつの仕事をいただいてそこから、ふたつの仕事を生み出すと、仕事はどんどん楽しくなる。

次の仕事を生み出すことが仕事。

それが解って働けば人生は変わる。

シンケン研修資料より(追社長著)

仕事で、『価値観を合わせる』ことを重視されている理由は？

「この会社は『自分が好きなことを生業(なりわい)にしている』ということが基本にあって、スタッフにもこの仕事が、自分の携わる仕事が好きだということが、ここで働くための最低条件だと言っています。好きであれば上手になるし、好きなことなら苦勞を苦勞と思わず、楽しく仕事ができるでしょう？

『思想は金太郎飴、実務は桃太郎軍団、実践はサッカースタイル』が最良の在り方だと思っています。共通の目指すもの、目標があれば一緒に力を合わせることができます。そこにいろんな人がいて違った能力を持ち寄れば一緒に力を合わせられます。方向性、考え方が『金太郎飴』であれば、実務は『桃太郎軍団』のそれぞれが瞬間的に自分で判断してプレイする『サッカースタイル』でいいんです。それぞれが責任を持って、楽しみながら仕事をすればいい。」



シンケンの家はロケーションの活かし方が最高だ。土地探しから提案する際はその敷地に適した家のプランをまず作成。お客さまに住まいのイメージを伝えている。

思想は金太郎飴、実務は桃太郎軍団。

「どこから切ってもシンケン」

たとえば金太郎飴は、どこから切っても必ず涼々しいまゆげの金太郎の顔が現れます。後ろや横を向いたり、目を閉じた顔はありません。社員の思想・在り方も同様です。私たちは常に組織の一員として「理想」「在るべき姿」を真摯に語り合い、ゆるぎない一本の芯を共有しあうことが大切です。

それは、決して一律や一様、画一という意味ではありません。組織の方向性・目指す先を皆がきちんと見据え、互いに意識を喚起しながら、なおかつ柔軟に時流を据えることが必要です。つまり、「どこを切ってもひたすらにシンケン」であることが、永続的な組織の繁栄にとっての要諦(ようてい/肝心かなめの点)なのです。

「きびだんごより大切なもの」

組織が「理想の在り方」を目指すためには、すべての社員が誰一人として欠かすことのできない「人財」であることが求められます。

一人ひとりが個性や特性を活かし、一丸となってひとつの理想を目指す姿は、サル、キジ、犬といった仲間とともに困難を乗り越えた桃太郎軍団そのもの。それぞれが得手とする強みを持ち寄り、存分に発揮し、助け合い、補い合うことによって、より一層強固で着実な一歩を踏み出すことができます。

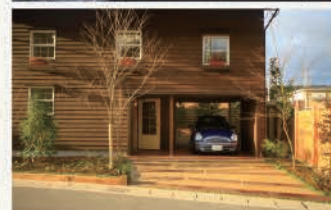
また、仕事の喜びは、生きる喜び。日々の職務を通して各人の生き様そのものが豊かになるとき、きっと、おみやぎだんごといった形ある物(そしていつかはなくなる物)には代えられない、真の価値がもたらされます。

そして、実践はサッカースタイル・・・

シンケン研修資料より(追社長著)



庭には大きな木を植える。常緑樹はプライバシーを確保し、落葉樹は夏の日差しを遮り、冬には日差しをとり入れるのにも適している。





広くて見晴らしの良いデッキは、草花の自然を感じながら、ゆっくりとしたくつろぎのひとときを演出する。

2020年以降の人口減少を考えて

「会社の規模に比べて、圧倒的に多くの潜在顧客を持つこと、つまりシンケンファンを限り無く増やすことに専念します。

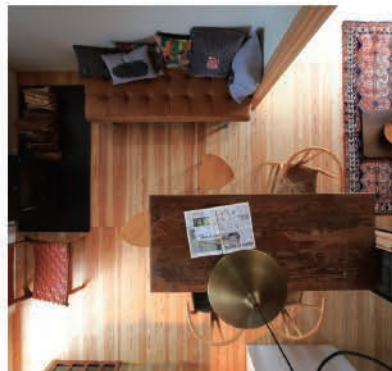
家は何回も買うものではなく、ほとんどの人は一生に一回だけ買います。だから相当慎重になって、前もって情報を得ようとする。知らない間にインプットされるものもありますよね。道を歩いていると『感じのいい人たちがくっついている家だな』とか『素敵な家があるな、こんな家に住みたいな』とか。そういう思いをいっぱい抱いていると、もし建てる時はここにしようと思います。地道に自分達の好きな家をつくり続けていくと、それが良いと思う人、潜在顧客も増えていく。全体の人口が減っても、シンケンのファンは増やしていきたいですね。棟数を競うのではなく、いい仕事をして、永く続けられる仕事がしたいですね。」



悠悠と綿綿と在るために… 今後の事業展開とは？

「おかげさまで、鹿児島や福岡以外でもシンケンの家を買ってほしいと言っただけのお客様が少しずつですが増えてきています。安心していい家を買って気持ちよく住みたいと考えているお客様は全国にたくさんいらっしゃる。

もし、理念や価値観が同じ人が集まって、そんな全国のファンに応えられるネットワークが創れたら、最初の方で話したような、四季の移ろいを楽しみ、散策を楽しむたくなる、そんな潤いのある街並みづくりで、心地よい住環境に浸る喜びを、そして暮らしを楽しむ豊かな住まいの在り方をもっと広く伝えることが出来るかもしれない。そんな思いを抱き、実践を始めています。詳しくはシンケンのホームページでも紹介しています。よろしければご覧になってみてください。」



より良い人生とは、 より強く『必要とされること』

他人に『必要とされること』それは人が生きる上で最も大切な事のひとつです。誰からも必要とされなくなると感じながら、人は生きる気力を持ち続けられるでしょうか。

人生をより良く生きる、とは 先ず 仲間、家族、組織、そして社会に対して『必要とされる自分』を築くことです。

ひとりひとりが 自分自身の価値(売り物)は何かをしっかりと見極めそれを研ぎ、高め、その研鑽し向上する過程を 生きがいや喜びと感じ、他の誰にも替えがたい、掛替えのない価値を身に付けてもらいたいものです。

その 価値(売り物)が社会や組織、家族や仲間が必要とされる度合いこそが、それぞれの生きる 喜びや豊かさに直結している様に思います。

『必要とされる自分』に研ぎをかける！
与えられた時間をどのように使うか、それは、それぞれに委ねられています。

シンケン研修資料より(追社長著)





年間を通じた太陽の動きを計算し、夏は日差しを遮り、冬は日差しを家の中まで届くように建物自体を配置。敷地に対し斜めに建てることによって、プライバシー確保・庭スペースの有効利用にも繋がる。

外 壁 : スイス漆喰 カルクウォール



開放的な空間の間取りと、人の視線や動線、部屋と部屋との繋がりをうまく馴染ませ、居心地のよい室内を実現している。

内 装 壁 : スイス漆喰 カルクウォール

今回、(株)シンケン迫社長のお話をお聞かせ頂いて「設計」・「経営」・「マーケティング」この3つでいずれも独自の考えを持ち、実践されている方だと感じました。シンケンのファンづくり、それは意図的に仕掛けられたものではなく、単に「住まい手が幸せに、豊かに過ごせる為の家づくり」と真摯に向かい合い実践してきた結果でもあるのです。シンケンのデザインをいくら真似ようとも、その価値観がそぐわなければ似て非なるものとなるでしょう。

また、迫社長は「私のわがまま住宅だ」とおっしゃっていますが、それは決して、お客様のライフスタイルに合わせた家づくりをしないということではありません。家づくりの専門家・プロだからこそ、本当に居心地がいい家を提案できるということです。すなわちシンケンの家づくりの「自己満足」はお客様の喜びや満足＝「利他」の上に成り立っているということです。

シンケンの経営理念でもある「悠悠と綿綿と在るために」……全国のシンケンファンに向けて、次はどんな行動を起こされるのか、とても楽しみです。

1977年に創業、「棟数よりも、お客様に本当に満足して頂ける住まいを追求したい」という考え方にに基づき、独自のスタイルと情熱を持った住まいづくり「SINKEN STYLE」を築きあげる。手掛けた住宅は1,400棟にのぼり、今では全国的な知名度を誇る工務店。お客様の要望から生まれた、シロアリ駆除を請け負う「シンケンハウスケア(株)」、アフターケアを手掛ける「(株)シンケンユーザーズサポート」、不動産を担当する「シンケン不動産(株)」、オリジナル家具の「シンケンスタイルウッドワークス」をグループ内に持つ。現在、シンケンの提案住宅「モイスの家」を全国に提供していくための試みをスタートしている。

**SINKEN
STYLE**

株式会社シンケン

〒890-0056

鹿児島県鹿児島市下荒田4-49-22

TEL 099-286-0088

FAX 099-259-8088

http://www.sinkenstyle.co.jp





掲載雑誌紹介

Come home!vol.34

(主婦と生活社)

主人と旅した海外でみたインテリア
開放的で工夫がいっぱいの
住まいを実現!

ライフスタイル誌
11月20日
発売

外国の家みたいなキッチンや、モロッコ風のパーテーション、サンタリーはギリシャ風の漆喰壁、どれも大好きな海外のインテリアをモチーフにしたお家が紹介されています。

【設計・施工】

エブリッジホーム株式会社 茨城県鎌田市柏熊457-4
TEL:0291-32-3139 <http://www.tomine.co.jp>



コンフォルト

(建築資料研究社)

スイス漆喰で自由な発想の空間を
第4回塗り壁のある風景コンテスト

スイス漆喰アートフェスタ
Swiss-Wall Art Festa2013

授賞作品の紹介や、コンテストのイベント内容が紹介されました。

インテリア誌
12月1日
発売



新建ハウジング

(新建新聞社)

欧州エコ建築の最先端
スイス・ドイツ
エコバウツアー視察記
<連載中>

専門情報誌
毎月
10日・20日・30日
発売



工務店様向け

イベントも定期的で開催しています!

IKEDA × YAWATA 「左官」と「漆喰」について学ぶ集い

イケダコーポレーションでは、スイス漆喰カルクウォールの魅力を体感し、正しい知識を身につけて頂くセミナーを定期的で開催しています。2013年12月10日(火)に開催したセミナーでは、イケダコーポレーション×東京都葛飾区の左官屋さん「八幡工業」。とても濃い内容なので参加者も10名様に限定して開催しています。八幡工業様の事務所をお借りして、「歴史から学ぶスイス漆喰の特徴」、「プロが教える正しい漆喰下地の作り方」を学んで頂きました。最後にはスイス漆喰・日本の漆喰・珪藻土を塗り比べる塗り壁体験も行いましたよ。



スイス漆喰の家巡りバスツアー

2013年11月19日(火)に千葉県のSUDOホーム(須藤建設株式会社)様にご協力頂き「スイス漆喰の家巡りツアー」を開催しました。このバスツアーはスイス漆喰の現場に案内し、スイス漆喰の質感や仕上げを見てもらうほか、既製品に頼らない良質な自然素材にこだわった家づくりや、その考え方を地場の工務店様が同士として親睦を深めて頂くという人気の企画です!



詳しいイベント情報は → <http://iskpark.com>

名古屋

実践すべき家づくりとは? セミナーも定期的で開催しています。 エコロジー住宅セミナー 2014

消費税増税後、選ばれる家づくりのヒントがここにある。2013年ドイツ・スイスの新築で義務化されたパッシブハウス基準は、日本の住宅の変化のスタートでもあります。原発問題を発端としてエネルギー問題は日本社会で避けられない重大な問題になりました。大きな影響を持つ省エネテーマは2020年に向けて日本の住宅を激変させることは間違いありません。残り7年、地域工務店の家づくりは今どう変わるべきか? そんな2014年、地域工務店にとって今すぐ役立つ家づくりのヒントを得る絶好の機会です。



野池政宏
住まいと環境社
代表取締役



今泉太爾
一般社団法人
日本エネルギーパス協会
代表理事



三浦祐成
新建新聞社
代表取締役

日時:2014年2月26日(水) 12:00開場 12:30開演
場所:名古屋国際会議場2号館3F 234号室
定員:80人(先着順)

詳しいセミナー情報は → <http://iskpark.com>

この情報誌に関するお問い合わせ
資料・サンプル請求は

株式会社
Ikeda
CORPORATION イケダコーポレーション

☎0120-544-453

仙台・東京・名古屋・大阪・福岡

〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島4丁目8-28 FJビル3F
TEL.06-6452-9377 FAX.06-6452-9378

〒104-0045 東京都中央区築地7丁目10-2 築地小川ビル4F
TEL.03-3544-4453 FAX.03-3544-4450

<http://www.iskcorp.com>

E-mail info@iskcorp.com

